

厚生労働科学研究費補助金  
(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)  
分担研究報告書

循環器救急疾患に対する救急医療現場の連携推進のための課題抽出と専門医間の連携構築  
を目指したガイドブックの作成

研究分担者 岩間亨 岐阜大学大学院医学系研究科脳神経外科分野・教授  
榎本由貴子 岐阜大学医学部附属病院・講師

研究要旨

脳卒中救急における病院前脳卒中評価の有用性に関する観察研究

A. 研究目的

急性期脳卒中患者の搬送先決定のための脳卒中病院前評価法、とくに主幹動脈閉塞例(LVO-AIS)評価法の有用性について評価し、その現状と問題点を明らかとする。

B. 研究方法

多施設共同前向き観察研究

岐阜県下における急性期脳卒中が疑われる救急搬送例において、救急隊がCPSS, JUST7スコアの脳卒中病院前評価の結果を病院前活動記録に記載、この病院前活動記録の情報、および受け入れ医療機関での当該患者の最終診断および患者転帰を集積し、脳卒中病型予測能、救急隊活動時間への影響、患者転帰への影響を検討する。

(倫理面への配慮)

病院前活動記録および、受入医療機関の最終診断および患者転帰は、「岐阜県救急・災害医療情報システム」を用い、消防・各医療機関で匿名化して入力されたデータベースを使用した。

C. 研究結果

対象を限定した先行研究：岐阜医療圏限定でR3.1.1-R4.3.31までにCPSS1項目以上陽性例で急性脳卒中が疑われた救急搬送例

256例について検討。JUST7スコア併用による救急隊活動時間への影響はなかった。LVO-AIS病型予測能の感度・特異度が最も高くなるのは13%であり、LVO-AISが10%以上であれば血栓回収センターに搬送すべきであった。

D. 考察

最終患者転帰との検討は現在解析中である。今後は岐阜医療圏以外の全医療圏での運用・実証研究を行う予定。

E. 結論

CPSSに追加してJUST7スコアを併用することで現場活動時間への影響はなく、病型予測に基づき搬送先選定が可能であった。

F. 健康基本情報

(総括研究報告書にまとめて記載)

G. 研究発表

1. 論文発表  
現在執筆中
2. 学会発表  
現在準備中

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし